

TSS工法でデモ施工

大阪市
水道局 洗浄効果を確認

大阪市水道局はこのほど、市内で「TSS型配水管内面洗浄工法」のデモ施工を実施した。同工法

は、管路リフレッシュ工法研究会が普及、技術開発・改良に努めている管内洗浄工法。デモ施工は

メラ調査を行い、夾雑物等の除去状況を確認した。

現場は、布設後40年以上が経過している配水管（φ150ミリ）。途中には、T字管や伏せ越し配管等が存在する。

施工は、現場の消火栓を取り外して消火栓用T字管を用いて実施した。

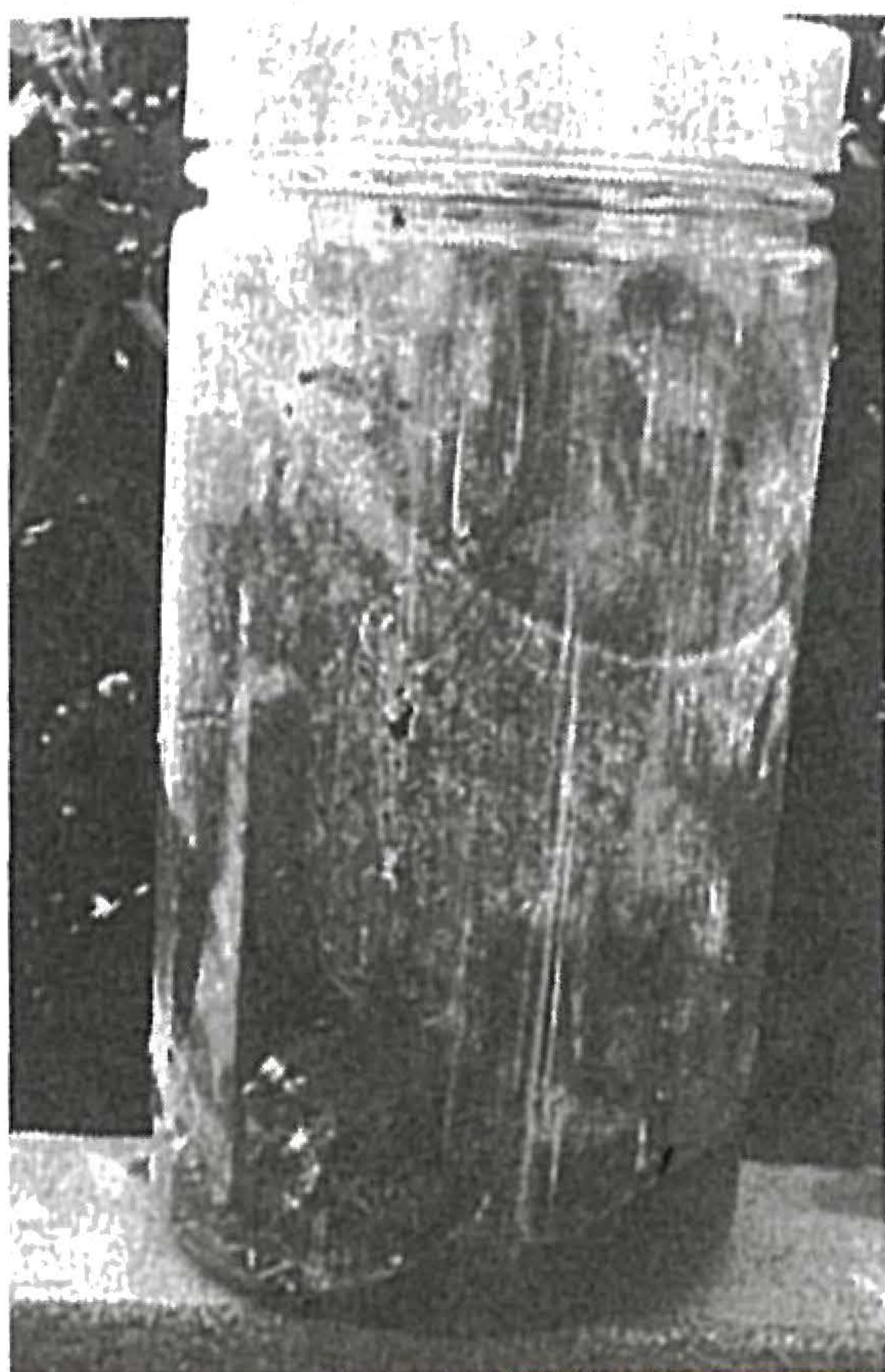
同協会の会員会社のクボタパイプテックが実施。施工後には管内カ

管内洗浄前には、管内カメラを用い、錆の発生状況等を確認。その後、T

字管から洗浄ヘッドを挿入、管内で洗浄ヘッドのナイロン製ブラシが高速回転し、錆やシールコート等の管内面の夾雑物を洗浄した。洗浄排水からは、夾雑物を確認。排水を継続して清水状態になったことを確認後、通水を再開した。



洗浄ヘッドの挿入状況



フィルターで排水から捕捉した夾雑物